

# Chord Tone Arpeggio Basic Training vol.06

## 確実に覚えておきたい、コードトーン・アルペジオの話

### ～Xm7、5弦ルート5種のパターン～

前回に続き、Xm7のアルペジオを学んでいきます。今回は5弦ルートの形ですね。

これまで(vol.02、04)と同じように、5弦7フレットE音をルートにし、Em7で弾いていきましょう。

インターバルは引き続き、root、m3rd、P5th、 $\flat$ 7th(m7th)ですね。

6弦ルートの時と同じく、X7の時との違いである3度の位置を、特に注意しながら弾いてみましょう。

それでは、まずはヘッド側に展開するパターンです。

#### 譜例1、Em7、5弦ルート、コードトーン・アルペジオ、その1

3小節目の6弦側への動きは、余裕があればついでに覚えてしまいましょう。(※やはりインターバルがどうなっているかをチェックしてみてください)

ちなみに、こちら側への展開は、もう一つパターンが作れます。次の譜例2と見比べてみましょう。

#### 譜例2、Em7、5弦ルート、コードトーン・アルペジオ、その2

両者の違いは、二回目に出てくるm3rdを2弦で弾くか、1弦で弾くかの部分ですね。

どちらも比較的弾きやすい形ですので、コード感のあるフレーズを作りたい時に、選択肢として出てくるかと思います。

後は、譜例1の方は、スウィープなどでよく使われるマイナートライアドの形とも重複していますね。

※E マイナートライアド、スウィープフレーズ、3連符 or 6連符(等)

この辺りとの差異も、合わせて把握しておきたいところです。

次のパターンは、真下に展開するものですね。ここも、ある程度実用的な弾き方が2種類ほど考えられます。

譜例3、Em7、5弦ルート、コードトーン・アルペジオ、その3

譜例3、別パターン

実際のところ、一つ目は譜例2と、二つ目は次の譜例4と大半が重複します。

弾きたいフレーズや指使いに合わせて使うものを選んでいきましょう。

次は、特に Xm7 のコードヴォイシングと関連が深いものです。

#### 譜例 4、Em7、5 弦ルート、コードトーン・アルペジオ、その 4

Em7

13 14 15

人 小 薬 人 薬 中 人 小

7-10 9 7-9 8 7-10 10-7 8 9-7 9 10-7 7 10-7 10 7

やはり巷では、これが 5 弦ルート Xm7 の基本のアルペジオとして出てくることが多いかもしれません。

弾きやすく、構造も理解しやすいものですので、これを一番最初にマスターしても良いですね。

それでは、今回最後の譜例ですが、いつものように、1 オクターブごとに展開したものです。

#### 譜例 5、Em7、5 弦ルート、コードトーン・アルペジオ、その 5

Em7

16 17 18 19

人 小 薬 人 小 (薬) (人) (薬) 人 小 中 小

7-10 9 7-9 9-12 12 10-12 12-10 12 12-9 9-7 9 10-7

2、3 小節目の 3 弦ルートの形は、あまり弾きやすいものではないですね。

もしここを使いたい場合は最初のルート音を省略して m3rd から弾いたりしても良いでしょう。(※この譜例で言うならば、3 弦 12 フレット G 音から、等)

慣れてきたら、これまで覚えた形を、他のルート音からも弾いてみましょう。

では、今回は以上になります。

ありがとうございました。

大沼